

中国の結婚事情

朴 恵子

秋にさしかかり、中国は結婚シーズンに入ります。

日本の結婚シーズンは6月といわれていますが、中国では5月と10月が結婚シーズンとなります。結婚シーズンの直前には、各都市の博覧会場で結婚博覧会が開催されます。大連でも毎年3月中旬に開催され、各地の有名企業がブランドを携えて出展しています。2017年の大連結婚博覧会では、4日間の会期中、毎日3万人以上の来場者があったといえます。博覧会での成約額および成約見込み額は、およそ2,800万元(4億6,200万円)に達しました。

2015年、北京大学社会調査研究センターなどが共同で、「2015 中国人結婚恋愛状況調査報告」を発表しました。同調査報告では、遼寧省における初婚同士の平均結婚年齢は27.63歳と、全国でも遅い方に分類され、報告されています。日本の初婚同士の平均結婚年齢は、夫が30.7歳・妻が29.0歳、アメリカでは27.4歳となっていました。中国でも晩婚化が騒がれていますが、日本はさらに晩婚化が進んでいるのだと驚きました。

※ 米国税関調査局・厚生労働省データを参照

＜結婚産業の市場規模＞

中国の産業市場研究機関である「中商産業研究院」が発表した「中国ブライダル業界の市場現状と発展動向研究報告」によると、結婚披露宴にかかる予算は全国平均で4万元から8万元(66万円～132万円)だといいます。地域によっては、予算の幅が異なります(下表参照)。なお、上海では、10万元(165万円)を予算として考えている人が2割ほどいたとの結果がありました。

結婚披露宴にかかる予算		1元=16.5円で算出		
予算額	1位	2位	3位	
4～6万元 (66～99万円)	北京 (37%)	広東省 (29.7%)	四川省 (29%)	
6～8万元 (99～132万円)	四川省 (50.5%)	江蘇省 (33.6%)	陝西省 (30.8%)	
全国平均	4～8万元(66～132万円)			

ホテルなどでの結婚披露宴の市場規模は、減少傾向にあります。2017年では、前年比2.78%減の3,845億元(6兆3,443億円)。2018年にはさらに減少すると見込んでおり、3,750億元(6兆1,875億円)になると予想されています。

なお大連における結婚披露宴の相場について、5ツ星ホテルで結婚式を挙げる場合では、20卓(1卓あたり10名程度)で11万元(182万円)程度です。

＜結婚産業の市場規模拡大とその理由＞

披露宴の市場が減少する一方で、結婚全般にかかる市場規模は増加傾向にあります。結婚の4大中核産業(ブライダルプラン策定、ブライダル撮影、ブライダルドレス、披露宴)の市場規模は2017年では1兆4,623億元(24兆1,280億円)でした。2018年では1兆8,000億元(29兆7,000億円)、2021年には3兆元(49兆5,000億円)を突破するともいわれています。



結婚産業の市場拡大の理由の一つとして、一人っ子政策(現行は「家族計画」規則では1組の夫婦につき、子供2人までとする“二人っ子政策”)が大いに影響していると思います。新郎新婦には2組の両親、4組の祖父母がいます。たった1人の子供、たった1人の孫のため、結婚にかかる費用は惜しくないのではないのでしょうか。

また一人っ子のうち、結婚年齢に達した85後、90後(1985年以降、1990年以降に生まれた世代)が個性的なもの、多様なものを求めることから、個性的な結婚披露宴や結婚サービスが多くなっていることも市場拡大の理由に挙げられます。「自分たちだけ」というカスタマイズされた結婚式が新しい風潮になっています。

近年の経済的な発展や個人収入の増加から、伝統的な行事にも変化が見られます。最近では、旧正月に子供に渡すお年玉が「現金」から「電子マネー」に変わりました。消費者や市場のニーズにより結婚披露宴のスタイルも変わっていくと思いますが、新しい人生のスタートを喜ぶ気持ちは持ち続けていきたいです。